

平成 28 年度事業の導入候補の考え方及び調査の流れ

(1) 公民館、コミュニティーセンター等

ア) 今後の利用状況の確認、設置面積の調査

「屋根貸し事業」「太陽光発電設備設置済み」「廃止予定」等の条件に該当しない 43 施設について、調査を進めることとした。(第一回専門委員会で説明)

イ) 今後の改修時期等についての確認調査

上記を管理する部署に対して、ヒアリング(文書確認)を実施。今後、「15 年程度での改修計画」や「敷地の利用状況の調査」を実施。26 施設が候補対象外となった。

ウ) 書面及び現地確認調査の実施

イ)の結果、抽出された 17 施設について、書面(主に構造強度確認)及び現地確認調査(計測、写真撮影)を実施し、構造上の課題、太陽光発電設備の設置にかかる課題及び蓄電池の設置場所にかかる課題の整理を行い、9 施設が設備の設置が可能と判断し選定した。選定結果は、表「H28 年度設備導入の候補施設」のとおり。

エ) 個票の作成

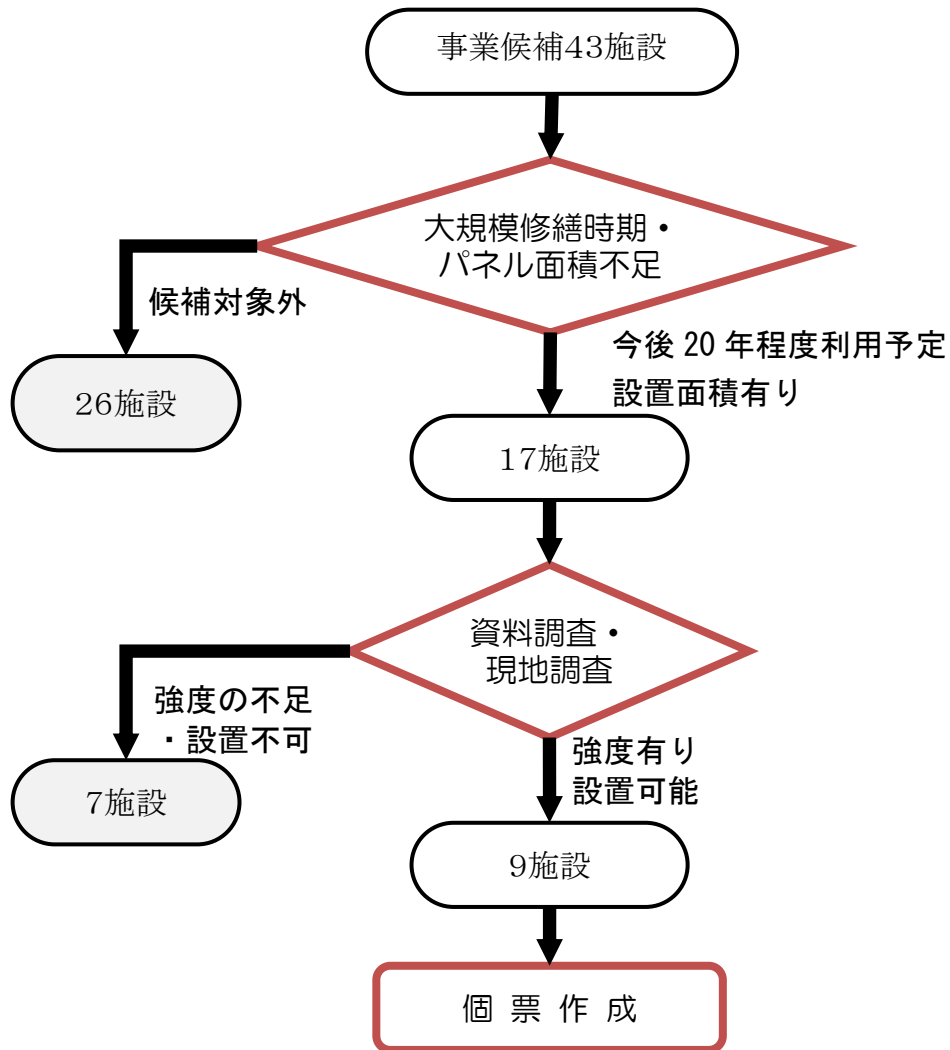
「設備の設置が可能」と判断された 9 施設について個票を作成のうえ、審査依頼を実施。

概要は表のとおり

表 H28 年度設備導入の候補施設：43 施設⇒9 施設

No.	施設名称	判定にあたってのコメント	状況調査	現地・構造	個票対象
1	千葉市都市緑化植物園	パネルの設置場所が取れない	×		
2	千葉市松ヶ丘公民館	建物改修の時期が 10 年以内	×		
3	千葉市生浜公民館	建物改修の時期が 10 年以内	×		
4	千葉市花園公民館	建物改修の時期が 10 年以内	×		
5	千葉市幕張本郷公民館	建物改修の時期が 10 年以内	×		
6	千葉市小中台公民館	建物改修の時期が 10 年以内	×		
7	千葉市山王公民館	設備設置可能と判定	○	○	○
8	千葉市都賀公民館	建物改修の時期が 10 年以内	×		
9	千葉市轟公民館	設備の設置スペースが取れない	○	×	
10	千葉市緑が丘公民館	建物改修の時期が 10 年以内	×		
11	千葉市若松公民館	設備設置可能と判定	○	○	○
12	千葉市桜木公民館	設備設置可能と判定	○	○	○
13	千葉市誉田公民館	建物改修の時期が 10 年以内	×		
14	千葉市越智公民館	設備設置可能と判定	○	○	○
15	千葉市磯辺公民館	建物改修の時期が 10 年以内	×		
16	千葉市稲浜公民館	改修等が一部未実施のため	○	×	
17	千葉市打瀬公民館	構造確認の結果、設置困難	○	×	
18	千葉市蘇我コミュニティセンター	蘇我勤労プラザと統合	×		
19	千葉市中央コミュニティセンター	設置場所が取れない	×		
20	千葉市畑コミュニティセンター	構造確認の結果、設置困難	○	×	
21	千葉市幕張コミュニティセンター	設備設置可能と判定	○	○	○
22	千葉市穴川コミュニティセンター	建物改修の時期が 10 年以内	×		
23	千葉市千城台コミュニティセンター	建物改修の時期が 10 年以内	×		
24	千葉市都賀コミュニティセンター	建物改修の時期が 10 年以内	×		
25	千葉市土気あすみが丘プラザ	建物改修の時期が 10 年以内	×		
26	千葉市鎌取コミュニティセンター	建物改修の時期が 10 年以内	×		
27	千葉市高洲コミュニティセンター	設備設置可能と判定	○	○	○
28	千葉市真砂コミュニティセンター	設備設置可能と判定	○	○	○
29	千葉市南部青少年センター	施設の今後の活用方針より対象外	×		
30	千葉ポートアリーナ	南西に高層ホテルの影が影響	×		
31	千葉公園体育館	除却予定が 20 年以内	×		
32	千葉市蘇我勤労市民プラザ体育館	構造確認の結果、設置困難	○	×	
33	千葉市武道館	除却予定が 20 年以内	×		
34	千葉市ハーモニープラザ	設備設置可能と判定	○	○	○
35	千葉市民会館	除却予定が 20 年以内	×		
36	千葉市長沼原勤労市民プラザ	構造確認の結果、設置困難	○	×	
37	千葉市宮野木スポーツセンター	構造確認の結果、設置困難	○	×	
38	千葉市みつわ台体育館	建物書類から設置困難と判断	×		
39	千葉市古市場体育館	構造確認の結果、設置困難	○	×	
40	千葉市土気市民センター	建物書類から設置困難と判断	×		
41	千葉市高洲市民プール体育館	設備設置可能と判定	○	○	○
42	千葉市幕張勤労市民プラザ	H29 に大規模修繕	×		
43	京葉銀行文化プラザ	屋上狭く、設置場所がない	×		

オ) 確認に係る全体フロー



資料調査	現地調査
<p>【検討条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築年：新耐震基準以降に建設（1981年） ・ 設備荷重 鉄筋コンクリート（RC）※：60kg/m² 鉄骨：30kg/m² ※RCは施設屋上のため、設備と人等を考慮し、鉄骨の倍の重量とした。 <p>【確認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討条件の荷重を載せたと仮定し、以下の項目を確認 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 耐地震強度：Is値、Qu値 ➢ パネル荷重強度：C、M₀、Q₀ 	<p>【確認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネル、蓄電池設置場所候補の選定と状態（防水・手摺・広さ等）の確認 ・ 太陽光パネル・蓄電池・電気室・避難場所等の位置関係（距離・障害物等）の確認

(2) 学校における屋根以外の場所

ア) アンケートによる調査 (実施済み)

「屋根貸し事業」「市導入事業」「本基金事業」で対象とならなかった学校に対して実施。

回答より「場所」「面積」及び「導入の意向」の条件を有する学校は 16 施設であった。(第一回専門委員会で説明)

イ) 現地の調査

◎現地状況把握を行い実際に設置可能かどうか判定

(判定基準)

- ・日影の影響を受けないこと(機能性)
- ・維持管理に経費(草刈り等)がかからない場所であること(経済性)
- ・利用者や生徒が立ち入れないこと(安全性)
- ・設置にあたり基礎の工事や配線工事が過大にならないこと(費用対効果)
- ・図面等によりパネル設置可能面積を精査(実現可能性)
- ・太陽光パネル設置場所における地盤及び建築物等の強度の精査(構造)
- ・**設置にあたり、木の伐採などが必要ないこと(植物保存 CO2 固定) ←追加**

⇒現地確認により、10 校については設置が難しいと判断(表中の現地欄のとおり)。障害物が無く、木の伐採等が不要な施設は 6 校となった。これについては、「太陽光パネル設置場所における地盤及び建築物等の強度の精査(構造)」の確認が必要となり、専門家への委託により確認を実施(表中の委託欄のとおり)

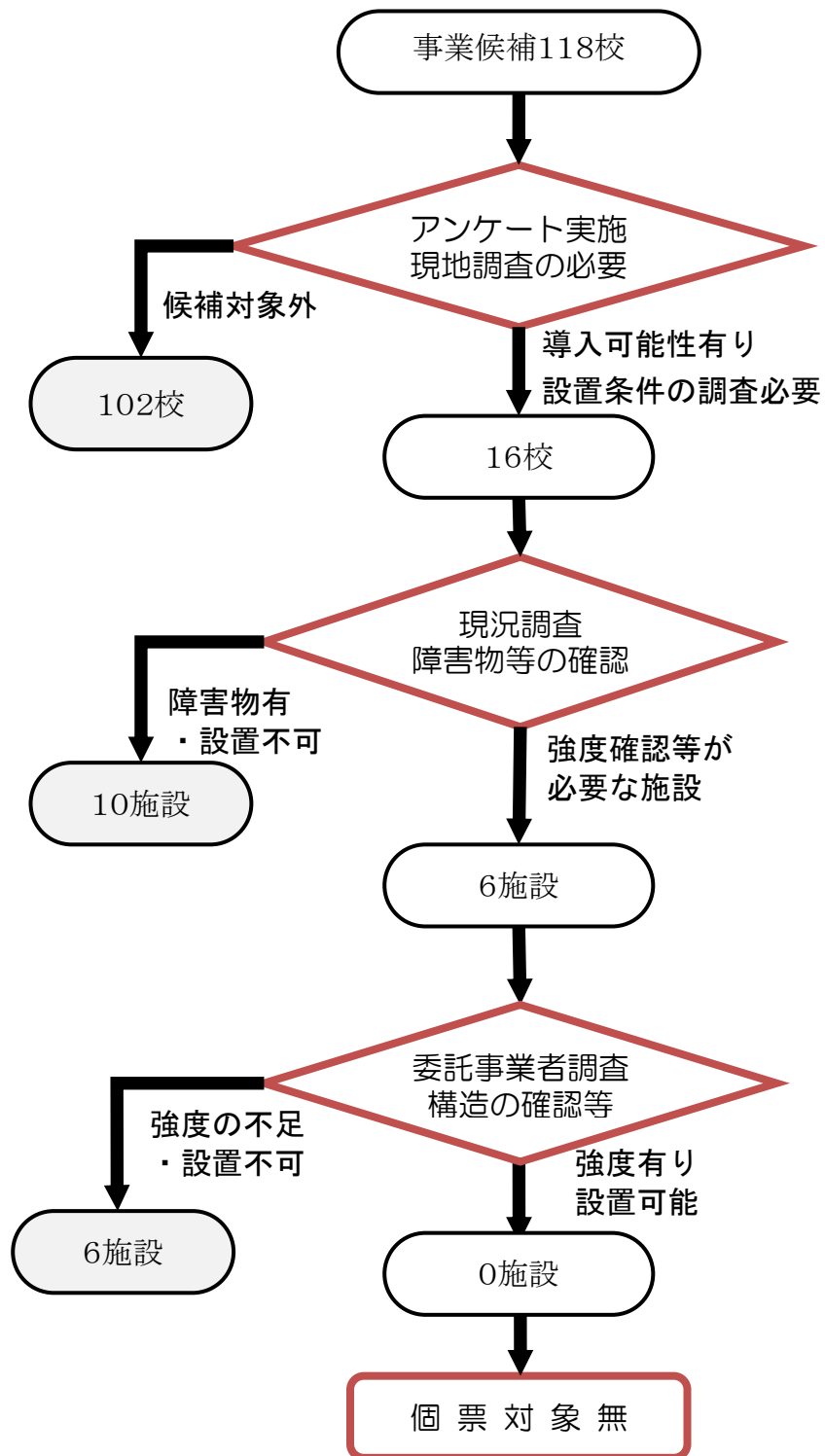
ウ) 委託調査結果

専門家による現地の施設状況や書類等を確認したが、設置が可能と判定された施設は無かったため、個票の作成対象となる施設は無かった。

表 現地調査等を実施した学校屋根以外の候補：16 校

No	学校名	場所の概要	現地	委託
1	千葉市立大森小学校	プールサイドに隣接したスペース	○	×
2	千葉市立松ヶ丘小学校	植栽又はプール周辺の空きスペース	×	
3	千葉市立大巖寺小学校	中庭が活用可能	×	
4	千葉市立星久喜中学校	武道場と部室棟	×	
5	千葉市立畑小学校	林を挟んで法面(西向き)がある	○	×
6	千葉市立横戸小学校	学校林に囲まれた場所や畑	×	
7	千葉市立さつきが丘中学校	武道場と部室棟、倉庫	○	×
8	千葉市立都賀中学校	敷地-防球ネット間のスペース	×	
9	千葉市立千城台西中学校	プール奥	×	
10	千葉市立千城台南中学校	校舎と校庭の間の法面	×	
11	千葉市立養護学校	校舎と隣地間の広い法面	○	×
12	千葉市立椎名小学校	敷地境界の斜面	×	
13	千葉市立泉谷小学校	体育館付近と敷地間のスペース	×	
14	千葉市立誉田中学校	駐輪場の屋根、部室	○	×
15	千葉市立高洲第一中学校	特別棟の上、防水の未実施	×	
16	千葉市立稲毛高等学校	候補は駐輪場の屋根	○	×

工) 確認に係る全体フロー



現況調査	委託事業者調査
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日影の影響 ・ 生徒からの隔離 ・ パネル設置面積 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理 ・ 工事費が過剰か ・ 伐採などの必要性
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネル設置場所の地盤及び建築物等の強度の精査(構造) ・ 日影の影響